

平成二十四年二月

道明寺天満宮梅まつり

奉納俳句入賞作品

一般の部

梅賞 わらべらと一茶あそびし梅の宮

藤井寺 渡邊 保

評 「青梅や餓鬼大将が肌ぬいで」

の一茶の句碑の前に佇んで。

松賞 被災地へ祈る日々なり梅白し

松原 北村 照代

評 三・一一の東日本大震災、未曾

有の出来事を忘れてはいけない。

竹賞 梅の園案内乞いたや白太夫

藤井寺 野中南水士

評 道真公をご案内したのが白太夫。

その祠はご神木の太樟の横に。

佳作 梅の宮馴染の地酒売られをり

太子町 麻野 明子

陽の射していよいよ白し梅の花

四条畷 石原 昭造

菅公の宮の矜恃に梅閑く

藤井寺 桑山 文子

梅東風や即かざ離れず女夫句碑

大阪 浅田百合子

梅句ふ元の土師社に室跡に

岬町 中出 乙淡

白梅やいっしか母の齢となる

松原 塩月 定子

親梅の骨董市にカバン買ふ

大阪 酒井 清美

梅の香や閑くみくじに梅の紋

藤井寺 近藤登志子

菅公さま出でませ宮の梅真白

羽曳野 富谷 澤子

盆梅の苔むす瘤や春

門真 石倉千賀子

子どもの部

梅の花今年も見に来た天満宮

藤井寺 飯田 祐未

あたたかくうめのつばみもひらいてく

柏原 田中 亮多

寒空に咲く一輪の梅花なう

藤井寺 河井 健

(評 俳人協会会員 桃井 克夫)